



わった〜バス新聞



わった〜バス党では、6月22日（9月4日の期間中、「あったらいいな、こんなバス」をテーマに、離島を含む沖縄県内のすべての小学校を対象に、自由な発想で「夢のバス」を募集。わった〜バス党のあさとゆうこ党首とあさとぼん幹事長、バス会社各社（琉球バス交通・那覇バス・沖縄バス・東陽バス、沖縄県、そして、絵本作家

入賞作品18点がついに決定!!

応募総数1761点より入賞作品が決定!! 「かなえ!夢バス図画コンクール」表彰式開催

アイディア満載の
楽しい夢バスが勢揃い!

10月29日に県庁1階ロビーで行われた表彰式では、フルーツやおすしなどの食べ物をはじめ、くじらやジンベエザメ、ヤギなどの動物のバス、すーじ道でもスイスイ走れる細バスなど、自由な感性で描かれた夢バスが展示される中、沖縄県企画振興統括監の稲福具実さんが「どれも素晴らしい作品。多くの県民がバスを理解するきっかけになればうれしい」とあいさつ。続いて講師として、審査員長のしろませいゆうさんが「今日入賞した作品は、絵だけでなくコメントに込められた想いの強さや審査の対象になっている。選ばれた子どもたちを大切に育ててあげてほしい」とコメント。副員長の



ラッピングバスの登場にみんな大興奮!

当日は実際に作品をラッピングしたバスも登場。大人も子供も大喜びで記念撮影をしました。絵を描くのが好きで、大好きな遊園地のパレードを思い出しながら、ゾウの鼻から音楽を流して楽しく移動ができるようにしたという近藤利香さんは、最優秀賞の自分の作品がラッピングバスになったのを見て「とってもうれしい!お友達やおじいちゃんおばあちゃんにも見せたいです」と感想を教えてくださいました。最後はラッピングされた夢バスに、子どもたちみんなで手を振ってお見送り。感動的なフィナーレとなりました。

セレモニーを終えての感想を審査員のお二人、そして党首・幹事長にも聞きました。「作品から子どもたちの絵の持つ力、楽しさがあふれていましたね。自分なら優しい気持ちになって癒されるバスに乗りたいたい(もも)」「個人的にはアイスバスが気に入りました。水なので喉が潤いたらなめられるアイディアもいい。夢バス企画、すごいですのでぜひ来年もやりましょう!(しろま)」

「子どもたちの感性には本当に驚いたさ。大気汚染に心を痛めて空気がきれいになり、子どもたちが安心して乗れるバスが実現したらいいな。」



平成28年度「出前授業」を実施してみませんか?公共交通を楽しく学ぼう!

沖縄県交通政策課では小学校への出前授業を行っています。

〈授業内容〉
◆交通すごろく(ゲームを通して公共交通への理解を深める)
◆なぜ公共交通が必要なの?バスの乗車体験

〈授業を受けた児童の感想〉
「バスレールなど、いろいろなくふうをして、お年よりや高校生にも広く使われていることがわかりました。CO₂が出てきすぎると大変車はたかでも便利だけれど、使いすぎないようにしたいです」



わった〜バス党「校内放送」はじまりました。希望する学校に党首&幹事長のトークをお届け!

わった〜バス党では、小学校給食時間などにあさとゆうこ党首とあさとぼん幹事長の声の出張サービスがはじまっています。すでに石嶺小学校・古蔵小学校で実施し、評判も上々のようです。

わった〜バス党の取り組みの中でも特に、児童・学生みなさんに伝えたい、「バスに乗るときのマナー」、「公共交通の利用による渋滞の緩和」、「県内路線バスでもゆいレールでも使える便利なOKICAの使い方」など、党首&幹事長がテンポの良いかけあいのでかりやすくおもしろくお伝えしていきますよ。

「うちの給食時間でもぜひ聞きたい!」という学校は、わった〜バス党の事務局までお知らせください。「おいしく食べながら笑って、そしてためにもなる!先生、バス党の校内放送ってバッチグーじゃないの?」(ゆうこ)

